



創形生のみなさん

緊急事態宣言の期限がさらに5月31日まで延長されました。また東京都の休校措置により、創形も引き続き入校できなくなりました。新入生のみなさんとはまだ顔を合わすことさえできていません。大変残念です。長引く外出自粛要請によって日常生活はもちろん、制作活動もままならない状態が続いており、みなさんも大きな不安を抱いていると思います。

創形は教員と学生の距離が近いことなど人の繋がりを何よりも重視してきました。教員は単に技術や知識を伝えるだけではなく、学生に対してどのように応えることができるのかを、一人ひとりに向けて真摯に取り組んできています。だからこそ今のように人と密な接触が禁じられていることに大きな戸惑いを感じています。

しかし、創形はただこのまま指をくわえて待つてはいません。当初は新年度ガイダンスを経て行う予定でしたリモート（遠隔）授業もこれから積極的に行なっていきます。また授業以外でも不安や悩みを感じている学生のために、専攻担当の教員がメールや電話などで相談を受け付けています。すでに教員から連絡があった学生もいると思いますが、まだ連絡が無い学生も遠慮なく相談してください。いつでも対応いたします。それが創形の強みだと思っています。

創形の造形教育の質を維持し、学生のみなさんが学校生活を全うできるように、私たち教職員も一丸となってしっかり支えていきます。

今起こっているこの困難な事態から世の中は今後、大きく変わるでしょう。そこで必要とされるのは、何も無いところから何かを生み出す表現やアイデアです。大きく変わる新しい時代を切り開き、築いていくのは、みなさんです。どうしてもネガティブになりがちな時だからこそ、未来に目を向け、今、みなさんがやるべきことを見出してください。

みなさんなら、新しい幸せな未来を構築してくれると、私は信じています。またそのために我々は精一杯サポートしていきます。